



平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 26 年 1 月 31 日

上場会社名 日本特殊陶業株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 5334 URL <http://www.ngkntk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 尾堂 真一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理部長 (氏名) 成田 宜隆 (TEL) 052(872)5918
 四半期報告書提出予定日 平成 26 年 2 月 14 日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 3 四半期	245,414	25.2	37,102	161.9	40,939	154.0	25,470	120.3
25 年 3 月期第 3 四半期	196,065	△4.1	14,167	△32.0	16,117	△15.9	11,561	△19.1

(注) 包括利益 26 年 3 月期第 3 四半期 41,947 百万円 (233.8%) 25 年 3 月期第 3 四半期 12,565 百万円 (95.9%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
26 年 3 月期第 3 四半期	円 銭 117.02	円 銭 —
25 年 3 月期第 3 四半期	円 銭 53.11	円 銭 —

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
26 年 3 月期第 3 四半期	百万円 454,244	百万円 304,812	% 66.6
25 年 3 月期	百万円 366,489	百万円 268,309	% 72.7

(参考) 自己資本 26 年 3 月期第 3 四半期 302,704 百万円 25 年 3 月期 266,295 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
25 年 3 月期	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 —	円 銭 11.00	円 銭 22.00
26 年 3 月期	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —
26 年 3 月期(予想)	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 —	円 銭 13.00	円 銭 26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26 年 3 月期の連結業績予想 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	324,000	7.0	47,000	97.9	48,500	75.2	30,000	43.5	137.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	223,544,820株	25年3月期	223,544,820株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	5,906,417株	25年3月期	5,877,441株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	217,652,702株	25年3月期3Q	217,675,621株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は世界各地の政治経済環境の変化、為替レートの変動、他社との競争状況、その他の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

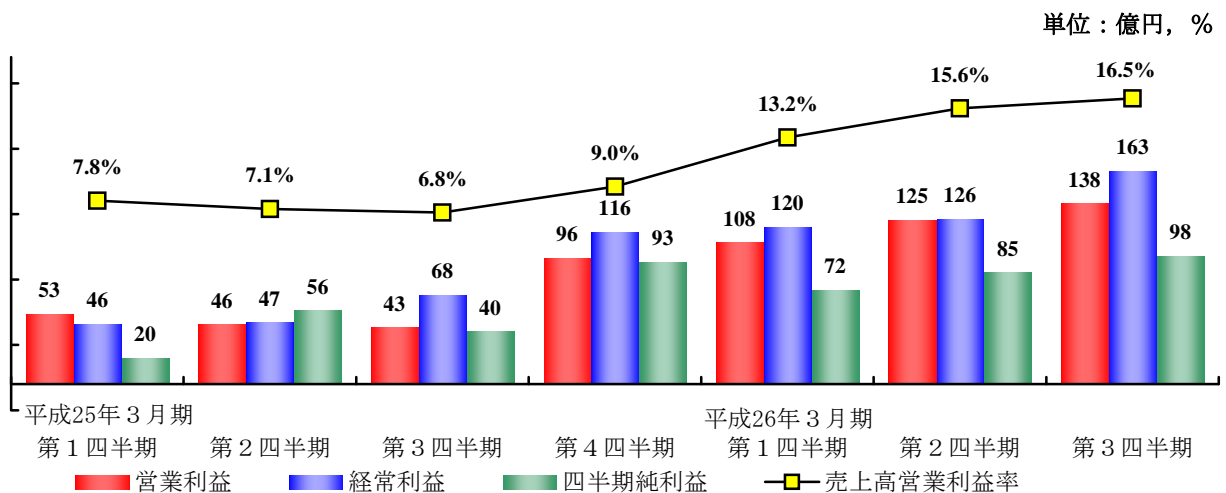
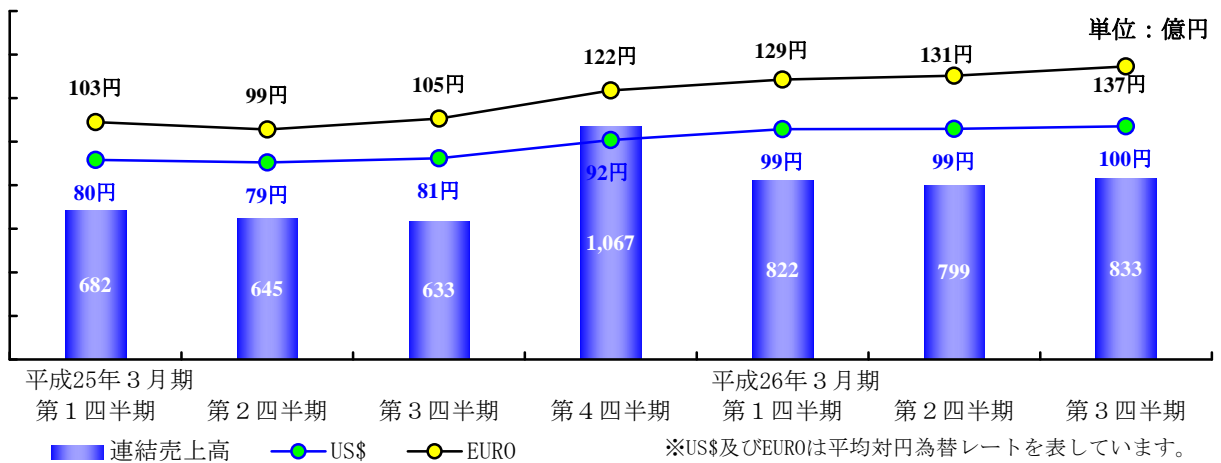
(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期における世界経済は、中国においては景気減速に歯止めがかかり、個人消費を中心に内需が堅調に推移しました。米国においては製造業の回復や雇用環境の改善が進み、緩やかな景気回復を背景に12月にはFRBが量的金融緩和政策の縮小を決めました。欧州においても景気回復傾向にあり、ユーロ圏では米国や中国向けを中心に輸出の持ち直しが見られる状況となりました。わが国経済におきましても経済政策における公共投資により景気回復が持続し、また金融市場では円安と株高が加速し、輸出企業を中心に企業の業績改善が鮮明となってきました。

当社グループが主要な事業基盤とする自動車業界は、世界の自動車販売は堅調に伸びており、特に米国と中国の二大市場が販売増を牽引しました。わが国におきましても価格や維持費が比較的安い軽自動車の販売が高水準を維持し、また消費税率引き上げ前の駆け込み需要と見られる動きが徐々に始まっています。

また半導体業界では、世界的にスマートフォンの販売、タブレット端末の市場拡大が続いている一方で、パソコン市場は低迷し、厳しい価格競争が続いています。

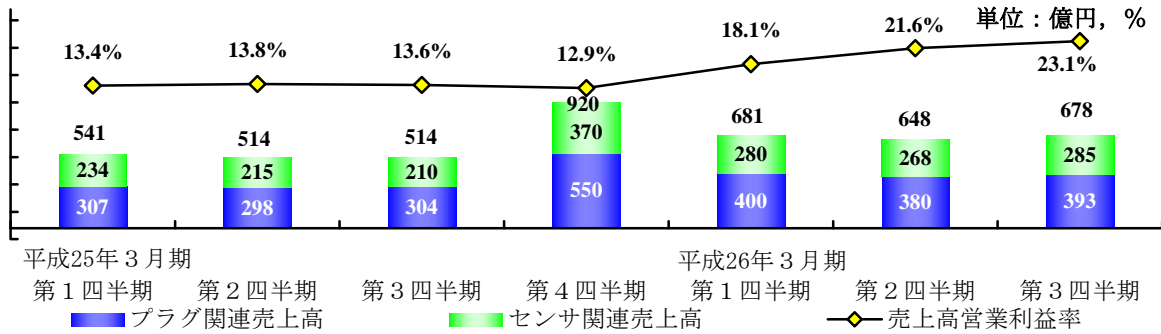
このような状況のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結売上高は2,454億14百万円(前年同期比25.2%増)、営業利益371億2百万円(前年同期比161.9%増)、経常利益409億39百万円(前年同期比154.0%増)となり、四半期純利益は254億70百万円(前年同期比120.3%増)となりました。



〈自動車関連〉

当事業は、新車組付用製品も補修用製品も北米や新興国を中心に販売が堅調に推移し、為替相場では円安が一段と進み、売上高の増加に寄与しました。また年度前半に引き続き、堅調な需要に対応すべく増産体制の整備を進めています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、2,006億70百万円（前年同期比28.0%増）、営業利益は419億38百万円（前年同期比96.7%増）となりました。

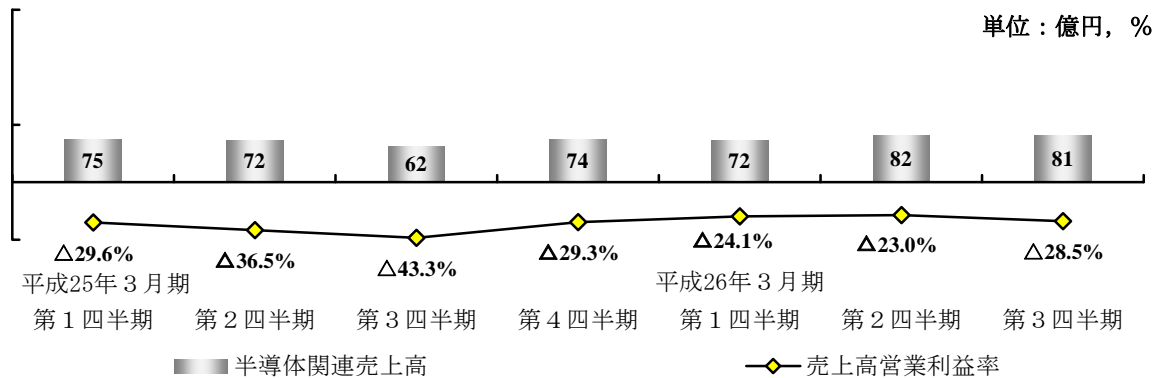


〈テクニカルセラミックス関連〉

半導体関連

当事業は、ICパッケージにおいて携帯電話用では客先在庫調整の影響で受注に落ち込みがみられたものの、パソコンCPU用では販売が堅調に推移しました。一方、収益については生産性の向上や原価低減など合理化活動を行い、改善に努めています。また現在、一部のICパッケージ生産において、国内及び海外の生産委託先へ製造移管を進めている状況です。

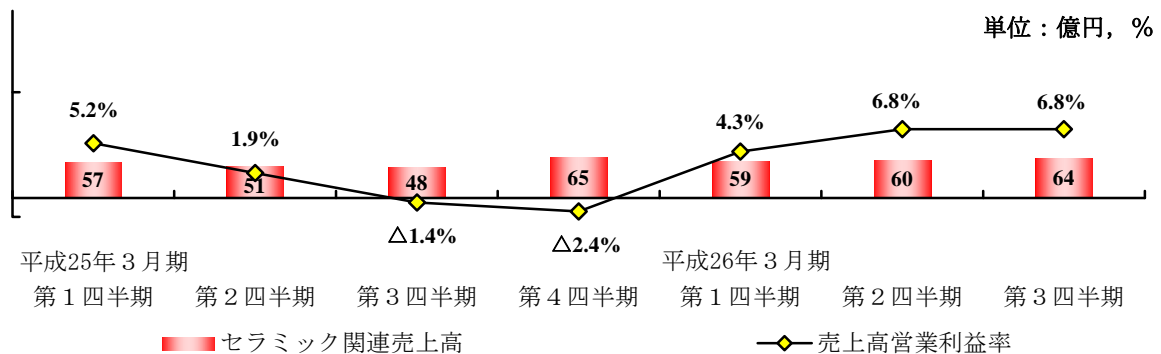
この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は234億75百万円（前年同期比12.6%増）、営業損失は59億20百万円（前年同期は75億16百万円の営業損失）となりました。



セラミック関連

当事業は、工作機械向けの製品出荷は、年度前半に続き、自動車部品加工用を中心に堅調に推移しました。また産業用機器向けでは、半導体製造装置用製品の販売が好調となっています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は183億3百万円（前年同期比17.5%増）、営業利益は10億94百万円（前年同期比239.5%増）となりました。



(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

	流動資産	固定資産	総資産	負債	純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期第3四半期	259,736	194,508	454,244	149,431	304,812
25年3月期	210,240	156,248	366,489	98,180	268,309

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末比 877 億 54 百万円増加の 4,542 億 44 百万円となりました。これは、主として有価証券や有形固定資産の増加によります。

負債は、前連結会計年度末比 512 億 51 百万円増加の 1,494 億 31 百万円となりました。これは、主として社債や長期借入金の増加によります。

純資産は、主として利益剰余金やその他有価証券評価差額金の増加により、前連結会計年度末比 365 億 3 百万円増加の 3,048 億 12 百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

(累計期間)	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
26年3月期第3四半期	37,416	△46,181	24,178	67,399
25年3月期第3四半期	13,927	△3,833	△15,044	47,314

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期比 234 億 89 百万円増加の 374 億 16 百万円の収入となりました。主として税金等調整前四半期純利益が増加したことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローにより支出した資金は、前年同期比 423 億 48 百万円増加の 461 億 81 百万円となりました。主として有形固定資産の取得が増加したことによります。

財務活動によるキャッシュ・フローにおける収入は、241 億 78 百万円となりました（前年同期は 150 億 44 百万円の支出）。主として社債の発行や銀行借入によるものです。

この結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に対して為替相場の変動による換算差額 21 億 10 百万円を加えた純額で 175 億 24 百万円増加し、673 億 99 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 25 年 10 月 30 日に公表した業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,557	35,369
受取手形及び売掛金	53,103	62,646
有価証券	46,079	69,592
たな卸資産	67,845	70,949
繰延税金資産	8,805	11,137
その他	10,148	10,457
貸倒引当金	△299	△417
流動資産合計	210,240	259,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	40,334	42,250
機械装置及び運搬具(純額)	30,157	37,859
土地	15,131	15,166
建設仮勘定	8,966	20,586
その他(純額)	2,484	2,571
有形固定資産合計	97,073	118,435
無形固定資産		
ソフトウェア	3,590	3,166
その他	235	265
無形固定資産合計	3,826	3,432
投資その他の資産		
投資有価証券	52,770	69,776
繰延税金資産	925	825
その他	1,755	2,142
貸倒引当金	△103	△103
投資その他の資産合計	55,347	72,640
固定資産合計	156,248	194,508
資産合計	366,489	454,244

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	18,814	23,375
短期借入金	1,432	1,630
1年内償還予定の社債	—	10,000
リース債務	302	274
未払法人税等	4,854	12,753
繰延税金負債	94	50
その他	25,799	28,417
流動負債合計	51,298	76,502
固定負債		
社債	25,000	40,000
長期借入金	—	5,000
リース債務	683	547
退職給付引当金	17,401	17,512
負ののれん	16	4
繰延税金負債	2,334	8,673
その他	1,446	1,191
固定負債合計	46,881	72,929
負債合計	98,180	149,431
純資産の部		
株主資本		
資本金	47,869	47,869
資本剰余金	54,824	54,824
利益剰余金	167,561	187,807
自己株式	△7,539	△7,599
株主資本合計	262,716	282,902
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,175	24,950
為替換算調整勘定	△12,596	△5,148
その他の包括利益累計額合計	3,579	19,802
少数株主持分	2,013	2,107
純資産合計	268,309	304,812
負債純資産合計	366,489	454,244

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	196,065	245,414
売上原価	148,478	167,717
売上総利益	47,586	77,697
販売費及び一般管理費	33,419	40,594
営業利益	14,167	37,102
営業外収益		
受取利息	782	872
受取配当金	593	816
負ののれん償却額	12	12
持分法による投資利益	332	367
為替差益	581	2,028
その他	802	793
営業外収益合計	3,104	4,890
営業外費用		
支払利息	424	375
休止固定資産減価償却費	309	190
その他	420	488
営業外費用合計	1,154	1,053
経常利益	16,117	40,939
特別利益		
固定資産売却益	595	74
投資有価証券売却益	—	11
特別利益合計	595	86
特別損失		
固定資産処分損	241	326
投資有価証券評価損	69	—
特別損失合計	311	326
税金等調整前四半期純利益	16,401	40,698
法人税、住民税及び事業税	3,527	15,726
法人税等調整額	1,131	△726
法人税等合計	4,658	14,999
少数株主損益調整前四半期純利益	11,742	25,698
少数株主利益	181	228
四半期純利益	11,561	25,470

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,742	25,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	691	8,758
為替換算調整勘定	52	6,819
持分法適用会社に対する持分相当額	78	671
その他の包括利益合計	823	16,248
四半期包括利益	12,565	41,947
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,349	41,692
少数株主に係る四半期包括利益	215	254

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	16,401	40,698
減価償却費	9,155	8,364
のれん償却額	△12	△12
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△104	96
受取利息及び受取配当金	△1,375	△1,688
支払利息	424	375
持分法による投資損益(△は益)	△332	△367
固定資産処分損益(△は益)	△353	252
投資有価証券評価損益(△は益)	69	—
売上債権の増減額(△は増加)	625	△4,386
たな卸資産の増減額(△は増加)	△486	2,145
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,573	△1,786
その他	△2,121	418
小計	15,316	44,110
利息及び配当金の受取額	1,599	1,619
利息の支払額	△358	△260
法人税等の支払額	△2,630	△8,052
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,927	37,416
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	△168	△304
有価証券の純増減額(△は増加)	△1,688	△14,484
有形固定資産の取得による支出	△11,256	△27,372
無形固定資産の取得による支出	△513	△618
投資有価証券の取得による支出	△3,116	△6,537
投資有価証券の売却及び償還による収入	12,101	3,607
その他	809	△471
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,833	△46,181
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	174	1
長期借入れによる収入	—	5,000
社債の発行による収入	—	24,877
社債の償還による支出	△10,000	—
自己株式の取得による支出	△9	△59
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△4,785	△5,220
その他	△425	△419
財務活動によるキャッシュ・フロー	△15,044	24,178
現金及び現金同等物に係る換算差額	441	2,110
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,509	17,524
現金及び現金同等物の期首残高	51,824	49,874
現金及び現金同等物の四半期末残高	47,314	67,399

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連	テクニカルセラミックス 半導体	セラミック	関連 計	計				
売上高									
外部顧客への売上高	156,793	20,854	15,578	36,432	193,225	2,839	196,065	—	196,065
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	156,793	20,854	15,578	36,432	193,225	2,839	196,065	—	196,065
セグメント利益 又は損失(△)	21,317	△7,516	322	△7,194	14,123	44	14,167	—	14,167

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自動車 関連	テクニカルセラミックス 半導体	セラミック	関連 計	計				
売上高									
外部顧客への売上高	200,670	23,475	18,303	41,779	242,450	2,964	245,414	—	245,414
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	200,670	23,475	18,303	41,779	242,450	2,964	245,414	—	245,414
セグメント利益 又は損失(△)	41,938	△5,920	1,094	△4,826	37,112	△9	37,102	—	37,102

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、材料売上、福利厚生サービス業及び運送業等を含んでいます。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しています。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成 25 年 4 月より、従来の情報通信関連事業とセラミック関連事業を統合し、テクニカルセラミックス関連事業としています。前第 3 四半期連結累計期間における情報通信関連、セラミック関連は、当第 3 四半期連結累計期間におけるテクニカルセラミックス関連の半導体、セラミックに相当します。

なお、前第 3 四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第 3 四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。